

令和2年
3月定例会

No. 148

議会だより まいこ



私たちの未来は？

2/3中学生が議場において子ども議会を開催

- 3月定例会審議結果 2 ~ 4
- 一般質問 5 ~ 8
- 出張議会意見交換会 8
- 常任委員会活動 9 ~ 11
- 町民の声 12

令和2年度予算を可決！

一般会計
土木費に3,000万円を上乗せ修正！

一般会計 77億3,000万円 特別会計 51億9,829万円

令和2年第7回定例会は、3月3日から13日までの11日間の会期で行いました。

提出された議案は、条例の制定2件、条例の一部改正8件、補正予算6件、新年度予算6件などです。

令和2年度当初予算

令和2年度当初予算は全員賛成で可決しました。

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	比較
一般会計	77億3,000万円	77億8,000万円	0.6%減
特別会計	国民健康保険	27億6,400万円	3.8%増
	後期高齢者医療	2億1,900万円	6.8%増
	介護保険	16億129万円	2.2%増
	公共下水道事業	5億1,600万円	0.4%増
	農業集落排水事業	9,800万円	3.0%減
合計	129億2,829万円	128億2,928万円	0.8%増

一般会計新年度予算の3本の柱

1.仕事のあるまち（産業振興）

- 観光戦略事業 400万円
- mashipo（益子町ポイントカード）導入 700万円
- インバウンド誘客事業 1,050万円



2.住みたいまち（住環境の整備）

- 役場周辺土地区画整理事業 1,680万円

3.子どもを育てたいまち（子育て・教育）

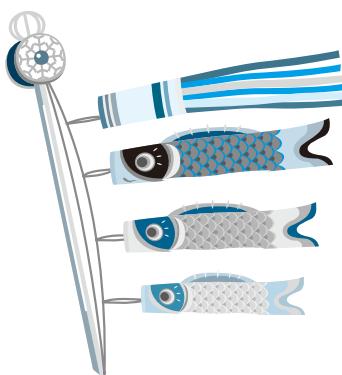
- ICT教育推進事業 1億1,795万円
GIGAスクール構想、電子黒板・デジタル教科書の整備

その他の主な使いみち

- ◆セントアイヴス渡英事業 278万円
- ◇子ども子育て支援整備事業費補助金 3,768万円
- ◇橋梁点検業務 1,000万円
- ◇学校給食費補助 517万円
- ◆図書館基本計画策定支援業務 300万円
- ◇国体実行委員会交付金 700万円
- ◆は未来計画です

条例の制定

- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
益子町職員の公益法人等への職員の派遣等に関する条例等について、所要の改正を行い整理するために制定するものです。
- (全員賛成)



- 益子町中小企業・小規模企業の振興に関する条例の制定
町内中小企業・小規模企業の振興に関する施策を総合的に推進するなどの町の責務を明らかにし、本町経済の健全な発展と町民生活の向上に寄与することを目的として制定するものです。
- (全員賛成)

条例の改正

- 益子町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
町議会議員と同様の改正で期末手当の支給率を改正するものです。
- (全員賛成)

- 益子町印鑑条例の一部改正
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化を図るために、関係法律の施行に伴い所定の要件を満たした場合は成年被後見人が印鑑登録を受けることができるよう、印鑑登録資格に係る規定の整備をするための改正です。
- (全員賛成)

○益子町一般職の給与に関する条例の一部改正

- 国において「一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律」が公布され、俸給表等が改正されたため、町職員についても同様に改正するものです。
- (全員賛成)

- 益子町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正
一般職と同様に、特定任期付職員について、国に準じた改正を行うもので、給料表の引き上げ及び期末手当の支給率を改正するものです。
- (全員賛成)

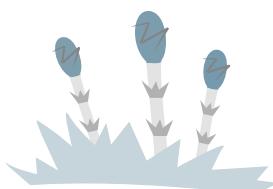
令和元年度 補正予算

令和元年度3月補正予算は全員賛成により可決しました。

会計区分	補正前の額	3月補正予算額	合計
一般会計	85億 328.万円	△ 2,549.万円	84億 7,779.万円
特別会計	国民健康保険	27億 928.万円	27億 1,338.万円
	後期高齢者医療	2億 1,115.万円	2億 909.万円
	介護保険	16億 1,536.万円	15億 8,202.万円
	公共下水道事業	5億 2,703.万円	5億 1,736.万円
	農業集落排水事業	1億 815.万円	1億 822.万円
合計	136億 7,426.万円	△ 6,638.万円	136億 788.万円

【一般会計補正予算の主な内容】

- ・農業競争力強化基盤事業 1,688万円（農政課）
- ・担い手確保・経営強化支援事業 6,750万円（農政課・翌年度へ繰越）
- ・地籍調査費 5,300万円（建設課・同繰越）
- ・橋梁補修工事（吉原橋） 1,800万円（建設課・同繰越）



7名の議員が登壇！

般質問

日渡 守 議員 5ページ

- ①安定した財源確保について
- ②国際交流の取り組みについて
- ③小中学生の体力及び学力向上の取り組みについて

諸田 秀之 議員 5ページ

- ①新型コロナウィルス感染について
- ②ツール・ド・とちぎについて
- ③町民大学卒業生の活動支援について

岩崎 秀樹 議員 6ページ

- ①町政運営について

直井 瞳 議員 6ページ

- ①感染症の危機管理対応について
- ②人口減少対策について

関 絹江 議員 7ページ

- ①ましこ悠和館について
- ②ましこ花のまちづくりについて
- ③英国トップセールス事業について

長岡 景介 議員 7ページ

- ①継続事業の有効性について
- ②悠和館・宿泊事業について

大関 保 議員 8ページ

- ①防災対策について
- ②危機管理について
- ③道路整備について

町ホームページで会議録の閲覧もできます！

○益子町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

(全員賛成)

どもについても除外する規程を設けるものです。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令が施行されたことに伴い、これまで保育料に含まれていた副食費が別途保護者負担となつたことから、副食費の保護者負担について、従前から除外されている3号認定の子どもに加え、低所得世帯に属する1号・2号認定の子

災害、捜索時における活動が4時間以上となつた場合の日当を4000円に改正するものです。

年齢要件を18歳以上に、住所要件を益子町在住、または、勤務するものに改正し、また、

正 (全員賛成)

○益子町消防団員の身分、給与等に関する条例の一部改正

団員確保のため入団条件の緩和や待遇を改正するもので、

町道188号 駅前柳町線について、終点側が益子西部北中地内の町道33号星の宮北中線まで通り抜けが可能になります。

町道の変更・廃止

全線を廃止するものです。また、町道200号 壞鉄橋線についても、現状は路線

上に宅地もなく町道の認定条件にも合致しない道路となつているため町道の全線を廃止するものです。

○町道路線の変更 (全員賛成) 町道132号 北中大沢線について、現状は一般車両の交通がない状況で、今後改良の予定もないことから町道の

○農業用施設災害復旧事業の施行 (全員賛成) 令和元年10月の台風19号災害に伴う大平、栗生並びに芦沼地区の農業用施設について

事業の施行

町が事業主体となり災害復旧事業を実施するものです。





日渡 守 議員

安定した財源確保のため、どのような対策を講じているか？

質問 安定した財源確保のため、自主財源を創出する事は、重要である。ふるさと納税・道の駅・悠和館・企業誘致等、どう対処しているか。

町長 ふるさと納税については、現在約3460万円です。年間では約3600万円程度と思われます。今後もKPIの1億円に向けて努力していきます。

道の駅に関しては、令和元年度の来場者数・収益の状況は、1月末現在で約70万6千人、約5億3千万円となっています。両方とも前年の実績を上回っている状況です。

悠和館の宿泊状況については、2月開業当初の週末はほぼ満室、3月以来新型コロナウィルスの関係でキヤンセル等もあり、予約可能な状況です。電話に加えて、予約サイトの稼動、HPの開設で宿泊者の増加につながるものと期待しています。企業誘致の取組状況については、企業や県からの問合せに対して状況に合う適地を確認して回答している

所です。今年度は5件の問合せ、町画で農業を成長産業として位置づけているので、農業に参入する企業の誘致にも取り組んでいきます。

小中学生の体力及び学力向上の取組は十分か？

質問 本町の小中学生の全国体力テストと学力テストの結果と向上のための取組はどうなっているか。

教育長 全国体力調査では、小中学生ともに20mシャトルランは良好な結果でしたが、長座体前屈・柔軟性の種目には課題が見られました。

取組については、平成28年度に町子ども体力向上プログラムを独自に策定して常時活用していますが、3年の経過と今回のテストの結果等を踏まえて、令和2年度に見直しを行い、更なる体力の向上に努めています。

学力テストの結果では、中学生は全教科で全国平均を上回り良好でした。小学生は算数で全国平均を下回ったが、国語は良好でした。

引き続き、関係者と県教委・芳賀先生方の授業力と児童生徒の学力向上を図っていきたいと考えます。

力所です。企業用地として売買や貸出できる土地として登録されている場所は2カ所です。企業誘致は製造業等の誘致が一般的ですが、新まし未来計画で農業を成長産業として位置づけているので、農業に参入する企業の誘致にも取り組んでいきます。



諸田 秀之 議員

新型コロナウイルス感染について

質問 益子町において新型コロナウイルスについて、どのような対策を現在講じられているのか、また他に検討されているのか、町長からお示しくださるようお伺いします。

町長 新型コロナウイルスに対する町の対応につきましては、益子町新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げ、第1回、第2回対策会議を開催、事態に対応し、町ホームページ、掲示等を利用して予防に関する広報周知に努め、町有の各施設にマスク、消毒液を配布、設置し子供や高齢者の方などに優先的に配布をしており、マスクの確保にめどが立つた事からマスクの全世帯配布を決定し、全世帯配布により備蓄がほぼ枯渇することから、引き続きマスク、消毒液の確保を図るとともに予防啓発に努めてまいります。

質問 突然の学校の休校という事で小さな子供さんを持つ保護者たちの経済的負担が心配されておりますけれども新助成金について現状どの

ようになつてゐるか。厚い手当、支援を望みたいと思いますが町長のご意見をお伺いしたいと思います。

町長 今現在新型コロナウイルス対策の会議においては、町独自の経済的支援についての話し合いはされおりません。議員の今件につきましては、要望という事で受け止めさせて頂きます。

質問 もはや幾つものイベント等の自粛は、益子町でも観光や中小事業者など経済の疲弊が心配されています。影響を最小限にするためにどのような対策を講じられるのかお伺いします。

町長 経済的な影響は現実的にもう既に益子の町内の各所で私も聞いております。経済の影響を最小限にとどめるためにはまずはコロナをできるだけ早く終息させ、コロナの感染者を出さないということが第一歩です。一人でも感染者が出てしまうと、経済的ダメージというものが、例えば陶器市をどうするかとか、その後の先ほど申し上げました百年祭もそうですが、様々なところに影響を及ぼさざるを得ません。中止の決定をせざるを得ないような状況にならないように今現在これから一、二週間をどういうふうにしのいでいくのかというところにまずは注力をしまいりたいと考へております。



岩崎 秀樹 議員

町政運営について

質問 前の説明ではましこカンパニー（以下益力と略）が、厨房設備の設計、施工もやるとの事だったが、

質問 町の随意契約のガイドラインはどの様になつてあるのか。

町長 それはないが、地方自治法施行令に基づいた取扱をしている。施行料の定義は。

質問 町がその権限に属する事務や事業等を他の機関、又は特定の者にその事業等を委託して行つてもらう場合に支払われる経費と理解している。

質問 委託業者の選定は。

町長 それは、事業の内容や設計額などにより競争入札、随意契約の判断を行い、その形態に応じた業者の選定を行つている。

質問 委託業者選定の場合、業者の能力はどの様に判断しているのか。

課長 随意契約は発注の内容等によりその業者が持つ能力等は選定の段階できつちり精査すべきと考えている。

質問 益力は厨房設備設置で経験や、ノウハウを養つて来たと思う。一番ベターな方向と理解している。

質問 約2200万の大きな金額だが、益力の定款には厨房設備の設計、施工業務は入つてているのか。

課長 一番最初に公共施設の維持管理、運営等に関する受託業務があるので、広義でこちらに道の駅の運営に関わるという理解で委託した。

質問 不落隨契なら理解できるが、工期が間に合わないという理由で、建物は一般競争入札で、厨房設備は随意契約では問題があるのでは。

課長 工期の理由もあるが、建物と厨房設備の一括発注だと元受が下請けの厨房業者からマージンの発生が予想されるので、それ以上に効果的、効率的な機器の設置が十分益力ができるとの考え方から、契約した。

益力はその資格や技術はあるか。

課長 益力は、プロデュースの段階から携わってきた。今迄の経験から委託業者を選定した。

質問 業務として設計施工を益力ができるのかお尋ねしている。

課長 設計施工とは意味が違うが、最終的な設置から調整といった業務が入つて來るので委託料で契約した。

「減少に歯止めをかける」人口減少対策について

質問 社会動態減少の要因に雇用の確保が挙げられます。今後どのように取り組まれますか。

町長 昨年の転入出状況を見ると114名の社会減のうち、104名が19歳から29歳という状況にあり、雇用の創出が求められています。農業と食に観光を絡めた地場産業づくりは少しずつ形になり始めました。雇用支援奨励金制度による交付申請が令和2年度から始まります。若年者の雇用拡大と地元への密着につながることを期待しています。

質問 居住環境の整備は移住定住促進策として有効であり、転出防止策ともなる今後の居住環境整備をどのように推進されますか。

町長 令和2年度から「役場周辺土地区画整理事業」に着手します。ランドスケープデザインの観点を重視し、若年層・子育て世代の感性に訴えられるような市街地の形成に取り組みたいと考えています。

質問 子育て環境の充実は夫婦間

課長 町ホームページ等で予防に

質問 新型コロナウイルス感染予防について、対策本部において対応策をどのように講じていますか。

町長 町ホームページ等で予防に

質問 新型コロナウイルス感染予防に関する広報周知に努め、マスクの全世帯配付を実施します。感染の疑義が生じた場合は県東健康福祉センター等関係機関と連携を図り、帰国者・接触者相談センターを紹介しています。

意見 感染対策として、厚生労働省等のホームページ上の注意喚起を引用した、手洗い・咳エチケット・正しいマスクの着用等の広報啓発活動を徹底していただきたい。



直井 陸 議員

「新型コロナウイルス」対応策について

の希望子供数の実現に直結します。年間出生数が激減している現状を踏まえ、政策的にどう捉えていますか。

町長 子育て応援手当の支給をはじめ、こども医療費の現物給付の拡大、子育て支援施設の設置、各種育児支援に努めていますが年間出生数が伴わないのは指摘のとおりです。その時々で最善な施策を実施し、出生数減少が止まるよう、今後も効果的な政策を検討していきます。

意見 少子化対策のフレームを拡大して、未婚率の改善を図る家族政策に転換する必要がある。家族を持つ大切さを政策として捉え、婚活に止まらず施策の拡充を図られたい。



絹江 議員

ましこ悠和館について

質問 宿泊部門が開業となり10日たちました。その間の宿泊者数とこれから予約状況は。底地の分筆完了予定はいつになりますか。

町長 宿泊者数は30名。地権者より令和2年2月3日に寄附を受け、今後分筆登記、所有権移転登記の手続きを進めてまいります。

質問 ましこ悠和館の運営想定では宿泊者月平均110名、稼働率41・1%、1泊12名、週休2日、年265日で換算。収支計画では令和2年は1320名、令和3年は1380名宿泊、運営想定収支計画どおり達成できるのですか。

町長 会社の方でしつかりやつていただけだと考えている。益子の場合宿泊に年間を通して大きな波があるが、まずはのスタートを切れたと考えている。問題はコロナがどのような影響を与えてくるのか。状況を注視しながらしっかりと一人一人の顧客をつくつていっていただけるよう期待をしている。

ましこ花のまちづくりについて

質問 上山集落営農の方々が頑張ってくれています。暑い中作業され熱中症や体調を崩す方も出てくるかも。花畠イベントに毎年1100万円お金をかけて、費用対効果がはつきりしないのであればイベントで税金を使うのではなく福祉や子育て支援など違う所に回していただきたい。

町長 益子再生計画の3本柱のうち環境の分野の目玉施策として、ひまわり祭り、コスモス祭りを始めた。また、小宅地区の桜、菜の花の祭り、梅ヶ内の彼岸花街道なども加わり、年間を通して美しい花が咲く町になつており、町内外から多くの方が来場している。また、地域づくりの面からも大きな成果が上がっている。今後は美しい環境、地域づくりの取り組みとして、ひいては町内経済にもさらには良い経過をもたらすよう来場者の町内回遊の工夫をしながら継続していきたい。

質問 インバウンド対策に60万、トップセールスに506万円の予算。観光見本市での販路拡大の成果は。またこれらの事業に費用対効果がないとの声があります。今の経済状況では無駄かと思うが、どう考えるか。

町長 着地型観光商品の商談会後ツアーレースの造成につながり、外国人宿泊者も以前より増加。販路拡大は11件の商談が成立した。これらの事業と考へています。

質問 フラワーフェスティバルについて、始めた時の目的と現段階での成果の確認、今後の方向性は。

町長 土祭は文化の力で地域を元気にする目的で再生計画の文化部門の一つの施策として始めた。コト消費や着地型観光など町内経済の活性化に資すると考えている。また、地域の住民が主体的にまちづくりに取り組み好例として小学校の教科書にも紹介されるなど当初の目的よりも大きな反響を得られた。



長岡 景介 議員

大塚町政で始まり10年以上継続している事業の有効性について

質問 プレミアム商品券事業について、始めた時の目的と現段階での成果の確認、今後の方向性は。

町長 町内での経済循環を創出し、地域経済の活性化に資することを目的に始めた。本年度も販売期間内で完売しており、所期の目的は達成されている。今後は商工会と連携し、利用者の実績調査や現状分析を行い方向性を検討していく。

質問 具体的な成果やなんのためという目的が、実際に携わってく

質問 ただの作業になってしまい意欲が薄れてしまう。そこに問題ありと感じています。財政状況厳しき折、花はどちらかを止めることを提案し、土祭は何のためにやっているのかをもうと明確にするよう求めました。

町長 プレミアム商品券については、毎回約800世帯、全世帯の約1割程度しか購入していないこと。使えるお店が商工会会員に限定されているため、商工会に入っていない約3割の町内事業者では使えないという不公平な制度であることなどを指摘し、廃止も含め改善を求めました。



大関 保 議員

町長 情報共有や関係機関の連携

質問 新型コロナウイルスについて対策会議を開き、何を議論し、何を決めたか。また、危機管理において職員の役割は大きい。県内の地方公務員給与水準指數が県下で2年連続最下位であったが、このまでは職員の士気に影響は出ないか。

町長 防災訓練は、地域防災計画通り概ね実施できている。防災訓練の見直しについては実施時期を含め必要かと考えている。

意見 防災マップに19か所ある避難所の場所やルートの確認の訓練及び防災心得の周知を徹底しては。

危機管理について

質問 防災対策は益子町地域防災計画どおり実施できているか。昨年の台風時において避難勧告などを実施したが、今後防災訓練の見直しが必要ではないか。

町長 防災訓練は、地域防災計画通り概ね実施できている。防災訓練の見直しについては実施時期を含め必要かと考えている。

意見 防災マップに19か所ある避難所の場所やルートの確認の訓練及び防災心得の周知を徹底しては。

防災訓練の見直しを

質問 防災対策は益子町地域防災計画どおり実施できているか。昨年の台風時において避難勧告などを実施したが、今後防災訓練の見直しが必要ではないか。

町長 防災訓練は、地域防災計画通り概ね実施できている。防災訓練の見直しについては実施時期を含め必要かと考えている。

意見 防災マップに19か所ある避難所の場所やルートの確認の訓練及び防災心得の周知を徹底しては。

道路整備について

質問 県道下大羽・益子線は町の東の要であるが狭隘でカーブが多く危険であり県に何度も整備を希望してきたがその歩道及び拡幅整備の進捗状況及び町道栗崎・道祖土線の歩道整備の進捗状況を伺う。

町長 県道下大羽・益子線については、県に確認したところ平面測量の後、事業化に向け住民説明会を開きたいとのこと。町道栗崎道祖土線については、今年度平面測量、今後住民説明会を開く予定である。

意見 道路整備事業を成功させるためには、関係地権者の同意が重要であり、その交渉に当たり、県への協力に努めて、時には、町長が直接説得にあたることも必要ではないか。

道路整備について

質問 口で、マスク使用、アルコール消毒及び手洗い。トイレのスイッチ類はまことに触れないよう注意している。

意見 口で、マスク使用、アルコール消毒及び手洗い。トイレのスイッチ類はまことに触れないよう注意している。

道路整備について

質問 口で、マスク使用、アルコール消毒及び手洗い。トイレのスイッチ類はまことに触れないよう注意している。

意見 口で、マスク使用、アルコール消毒及び手洗い。トイレのスイッチ類はまことに触れないよう注意している。

質問 強化、マスクの備蓄確認と全世帯配布を決めた。職員の給与はそれぞれの職にふさわしい能力、業績等総合的に判断して決めることで職員の意欲向上につながるよう努力する。

質問 危機管理において、自治体職員が、新型コロナウイルスに罹患しないよう工夫や対策・指導はどのようになっているか。

課長 職員が罹患しないように窓口で、マスク使用、アルコール消毒及び手洗い。トイレのスイッチ類はまことに触れないよう注意している。

質問 原発問題・放射能対策について・・・原発の問題については国策のため対応いたしません。放射能対策についてはヨウ素の配布、甲状腺検査について教育厚生常任委員会に審議を付託いたしました。

質問 米軍機の騒音の苦情について・・・環境課へ報告し、対応いたしました。

質問 リズム時計工場跡地の有効活用と雇用の拡大について・・・工場跡地の有効利用については執行部で取り組みを行っています。雇用の拡大については総務産業常任委員会に審議を付託いたしました。

質問 悠和館の運営について・・・(株)ましこカンパニーに決定いたしました。

質問 悠和館底地の問題について・・・3月19日に登記完了し、町への寄附行為は完結したとの報告を受けました。

質問 ましこカンパニーの定款変更と宿泊業の許可習得について・・・執行部に内容を確認し、オープンまでに営業許可が出るため営業に支障がないことを確認いたしました。

質問 道の駅の経営状況について・・・町ホームページで公開しています。

質問 町の財務内容について・・・町ホームページで公開しています。

質問 議会運営について・・・議会運営委員会において、今後議決事件については執行部へ詳細な資料の提出を要望いたします。

質問 議会報告会と広報紙のタイムラグについて・・・議会だよりは年4回3ヶ月に1度の発行となっているため、ご了承ください。議会報告会の結果も町ホームページで公開しています。

質問 委員会付託事件の取り扱いについて・・・進捗状況について議会だよりに掲載いたします。

出張議会意見交換会を行いました

初の出前講座による意見交換会を2月11日中央公民館で開催いたしました。参加者からいただいたご意見を広報広聴常任委員会で審査し、全員協議会で協議いたしました。結果は次のとおりです。

○図書館建設について・・・教育厚生常任委員会に審議を付託いたしました。

○原発問題・放射能対策について・・・原発の問題については国策のため対応いたしません。放射能対策についてはヨウ素の配布、甲状腺検査について教育厚生常任委員会に審議を付託いたしました。

○米軍機の騒音の苦情について・・・環境課へ報告し、対応いたしました。

○リズム時計工場跡地の有効活用と雇用の拡大について・・・工場跡地の有効利用については執行部で取り組みを行っています。雇用の拡大については総務産業常任委員会に審議を付託いたしました。

○悠和館の運営について・・・(株)ましこカンパニーに決定いたしました。

○悠和館底地の問題について・・・3月19日に登記完了し、町への寄附行為は完結したとの報告を受けました。

○ましこカンパニーの定款変更と宿泊業の許可習得について・・・執行部に内容を確認し、オープンまでに営業許可が出るため営業に支障がないことを確認いたしました。

○道の駅の経営状況について・・・町ホームページで公開しています。

○町の財務内容について・・・町ホームページで公開しています。

○議会運営について・・・議会運営委員会において、今後議決事件については執行部へ詳細な資料の提出を要望いたします。

○議会報告会と広報紙のタイムラグについて・・・議会だよりは年4回3ヶ月に1度の発行となっているため、ご了承ください。議会報告会の結果も町ホームページで公開しています。

○委員会付託事件の取り扱いについて・・・進捗状況について議会だよりに掲載いたします。

常任委員会活動

閉会中の継続調査における改善要望を町長に提出

財源の確保策を重要課題として推進されたい。

令和元年11月から令和2年1月における各常任委員会の閉会中の継続調査審議結果及び議員討議を踏まえて委員会の意見を町長へ提出しました。

●地域拠点施設（加工所）について

ついて

益子産農産物の付加価値向上のため、加工機能を有する施設設置も重要であるが、原材料となる農産物が通年的に供給できるような体制構築を図る農業振興施策の拡充を併せて講じられたい。

今後の施設、設備等の設置及び更新については、管理する「ましこカンパニー」の経営状況を鑑み、自走性を考慮し、行財政負担の軽減を図るべきである。

●観光戦略会議について

DMO・*DMCの設立においては、国の支援制度等を有効に活用して、補助金交付終了後も安定した運営が図れるような組織の構築及び自主

※DMC：地域資源の觀光的価値を貨幣的価値に変換する企業

●安全安心なくらし（交通安全全推進策・防犯対策）について

財源の確保策を重要課題として推進されたい。

●防犯対策（交通安全全推進策）について

財源の確保策を重要課題として推進されたい。

防犯灯については、町内全域の設置マップを作成して、設置場所を把握するとともに地域間の設置箇所の平準化を図れるよう、自治会を支援されたい。

●第2期男女共同参画プランについて

女性の管理職は増加の傾向にあるが、まだまだ全体的に少ない。働き方改革も念頭に入れて、女性の管理職登用を増やすための努力が必要である。

さらには女性が活躍できる場の提供や、若年層の参加可能な新しい団体ができるよう仕組みや環境づくりが必要である。

ある。

総務産業常任委員会

7項目

●移住定住促進策

移住サポートセンター運営

業務として、移住相談、お試し住宅の管理運営、空き家・空き地バンクの調査及び登録等を行っている。

相談業務においては、30歳代の子育て世代と60歳代のセカンドキャリア世代がそれぞれ約20%を占める。また、農業就業希望者として約10件の相談も受けている。

空き家・空き地バンクの運営では、登録数に大きな伸びはないが、空き家の把握をするため、上水道企業団の協力を得て止水による空き物件調査を実施している。問題点として空き家の相続問題や築年数が古く修繕が必要な物件が多い。

要支援者の安否確認を行う

民生委員については、災害時の避難所誘導等において自治会のフォローが必要であり、さらなる連携体制の構築が求められる。

避難所の開設は、災害対策本部で決定しているが、今後、避難所の設営訓練や自治会公民館を利用した避難所設置についても検討課題である。

【委員会の意見】

自治会の協力を得て全町的な空き家調査を実施してから数年経過しており、国勢調査等を活用した定期的な調査が必要である。



●防災及び減災対策

毎年10月第3日曜日に町防災訓練を実施しているが、実践訓練への参加不足を感じられ、自治会単位で実践的な訓練を行う必要もある。

自主防災組織については、主に自治会長が組織体制、災マニュアルの把握や備品管理等を担っており、引き継ぎの過程が重要となる。

要支援者の安否確認を行う民生委員については、災害時の避難所誘導等において自治会のフォローが必要であり、さらなる連携体制の構築が求められる。

避難所の開設は、災害対策本部で決定しているが、今後、避難所の設営訓練や自治会公民館を利用した避難所設置についても検討課題である。

【委員会の意見】

今年度の防災訓練については、想定される災害に対応して台風による河川氾濫、土砂流出を対象とした訓練となつたが、台風被害を見据えて災害発生時に対応できるよう

審議しました～1月・2月・3月実施分～

※ 9ページからのつづき



時期に変更する必要性がある。
10月に発生した台風19号では、避難勧告が発令され町内3ヵ所に避難所を開設したが、いずれの避難所も小貝川以東に位置している。小貝川以西に居住する住民の方々は河川を越えての避難に不安を感じたとされ、避難対象者でなくとも停電、断水等のライフラインが遮断される恐れによる生活不安や独居高齢者等にも対応できるよう、災害の種類によっては学校施設等を利用した避難場所の開設を検討されたい。

また、急速に河川が氾濫した場合、現状において小貝川以西に位置する地域は、行政の支援を受けられない状態が想定され、自宅にとどまることとなるため、対象となる住民へ徹底した周知を図ることもに自治会主体による自主防災組織を活用した避難所設営等を推進されたい。

●ふるさと納税について

平成30年度におけるふるさと納税の寄附件数は2170件、寄附額は約3690万

【委員会の意見】

ふるさと納税の魅力は税控除だけでなく、その土地の特産品の返礼にあり、返礼品の充実が重要となる。豊富な品揃えはもとより、ふるさと納税でしか得られない量産での

円となっている。令和元年度は2月末で2103件、約480万円であり、最終的に前年度对比150万円程度の減少が見込まれる。

町民を対象としたふるさと納税に係る税控除額は、今年度195件、約653万円であり、前年度对比約230万円の増加となつており、年々増加傾向にある。

返礼品協力事業所数は34事業所となつており、品目としてはいちご狩り、ろくろ体験等の体験チケットや宿泊券も取り扱っている。返礼品取り扱い上位は、益子焼、工芸品（革製品）、食品となつている。

令和2年度の目標額5000万円を達成するために今までにない新たな返礼品の取り扱い、PRの改善を図ることとしている

きない限定商品や新商品開発に伴う市場に出回る前の商品、食品と抱き合させた焼物や工芸品等のセット物など工夫を凝らす必要がある。

また、来町を促す高速バスやきものライナーの乗車券や体験型商品の拡充等を図り、観光を目的とした益子ならではの楽しめるアクティビティ返礼品の充実も検討されたい



ふるさと納税制度で、もっとステキな益子町

【委員会の意見】

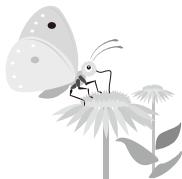
益子焼製造業者の中には通信販売で業績を伸ばしている事業所が見受けられ、今後の取り組みとして事業主の育成も観点に推進されたい。

企業誘致については、現在、問い合わせを受けての対応のみとなつてているので、職員の育成を図るためにも問い合わせに対し、相手側に出向き交渉等のアフターフォローをする機会を設けるべきである。

●雇用対策について

益子町の求職者数は、年間を通して300人台で推移しており、町内には約1000事業所があり、内800事業所は小規模事業者である。

3月に撤退したりズム時計益子工場については、2月に内覧会を実施したが、工場の大きさがネックとなつていて、売却、賃貸ともに対応は可能である。



○森林整備事業及び資源ごみの現状と対策 (1/30)

○第2期男女共同参画プラン (1/30)

○国民健康保険事業及び後期高齢者医療保険事業 (2/27)

○障がい者福祉 (2/27)

○放射能対策 (3/27)

○図書館基本構想検討委員会答申 (3/27)

教育厚生
常任委員会

6項目

● 放射能対策

安定ヨウ素剤の備蓄に関しては、国が備蓄しており、県は地域防災計画の中で国と連携して対応するとしている。町は国・県等の関係機関と連携し、国・県の方針に従って対応する。安定ヨウ素剤とは化学的に合成されたもので、放射性ヨウ素が甲状腺に集まりやすいので、そこに入為的に安定ヨウ素剤を先に集めさせることによって、放射性ヨウ素による被ばくから甲状腺を守るための薬である。

体での購入は可能であるが、配布する際には医師や薬剤師の協力が必要となる。

本町は東海第2原発から全地区30kmを超えており、UPZ(緊急防護措置を準備する区域部)外である。国の原子力災害対策指針では、UPZ外の防護対策として屋内退避が優先され、安定ヨウ素剤の配布は検討されていない。町が安定ヨウ素剤を購入する場合、国からの財政措置がないため費用は全額町負担となる。

安定ヨウ素剤は有効期間が5年なので、その都度交換しなければならない。

甲状腺がんの発症の原因は、主なものは若年時(特に小児期)の放射線被ばくとされており、放射線を浴びてから5年から10年くらいで発症する。甲状腺がんについては、本町全体で平成27年7件、28年8件、19歳以下は0件であった。本町において、過去3年間検査の要望はないが、県北では対応しており、福島県では無料で実施している。

5年なので、その都度交換しなければならない。

● 図書館基本構想検討委員会 答申

【答申及び説明内容】

図書館基本構想検討委員会

は、平成31年1月から8回の審議と先進地視察を行い、新しい図書館のあり方について検討を重ねてきた。令和2年3月25日に検討委員会の正副委員長が町長に対し「益子町図書館基本構想検討報告書」を提出した。報告書には、中央公民館図書室の現状と課題、新図書館の基本理念及び基本方針、建設候補地などが次のよう示されている。

たい価値をつくる施設として期待は大きい。しかしながら、建設費やランニングコストなどの財源については慎重に試算していかなければならない。有効な補助金や民間活力の活用など、さまざまな可能性を探していく必要がある。

図書館建設は必ずしも賛成の人ばかりではないので、多くの人の意見を十分に聴いて、今後策定する基本計画に反映させていくとともに、町民の理解が得られるように努めるものとする。

【委員会の意見】

安定ヨウ素剤は放射性ヨウ

素による被ばくから守る薬なので、東海第2原発が再稼働される前に、備蓄配布等に関する町としての方針・対策をきちんと立てる必要がある。

【委員会の意見】

「益子町図書館基本構想検討報告書」を重視し、併せて

また、国が備蓄する安定ヨウ素剤の配布方法等については、現在国で検討中としているが、本町もUPZ内と同様と考えて、国の動向を確認して町民に周知させる一層の努力が必要である。

本町図書室は収藏能力が限界を超えているなどの課題が多い。基本理念は「未来を育む知識の広場」で、基本方針は交流の拠点、育ち学ぶ拠点、文化の拠点、くらしの拠点の4点である。子どもから高齢者までが利用できる複合施設の核として、交流・学びの場の提供、郷土の資料収集・情報発信、町内経済の活性化や町活動の支援を行っていく。

本町において最大の課題である人口減少に歯止めをかける「ましこならでは」の住み

続き審議を継続していく。重要な案件であるので引き継ぎ審議を継続していく。

本町において最大の課題である人口減少に歯止めをかけける「ましこならでは」の住み



町民の声

城間 翔哉さん



町の力となれるように
がんばります。

沖縄県出身 24歳
趣味はスポーツ、読書。

私は昨年の11月に益子町の地域おこし協力隊として町に移住してきました。将来的には益子町で就農したいと考えているため、地域おこし協力隊としての活動期間を活用して地域のことを知り、農業生産に関する知識を深め、就農につなげたいと考えています。益子町は自然が豊かで、地元沖縄と同じようになります。益子焼の方が有名ですが）何かと重なるところがあり、勝手にご縁を感じさせていただいている。

現在は果樹の園地継承に関する業務を担当させていただけおり、果樹農家の現況調査や後継者調査などを行い、

地域おこし協力隊として町に移住してきました。

果樹生産への就農希望者に興味を持つていただけるよう

情報を集め、それを整理し活用させていただいています。

また、実際に後継者のいな

い果樹園の現場に入りながら

者へ繋げられるように栽培

の知識に関しても勉強させ

ていただいています。私自

身、実家が農家なわけでも

なく、農学部を出たわけでも

ありませんが、農業に興味を持つている人は少なからざいると思うので、そのような人たちへ、私の就農までの流れを一つのモデルとして参考にしていただけ

るところがありがたく感じます。



4月からは上記の業務に携わりながら、任期終了後、農業を中心に生計が立てられるようになります。移住してまだ半年ですが、多くの人と関わることで、益子町や農業について多く学ばせていただき、また一つの圃場の栽培管理を担当することで貴重な経験を積ませてもらっています。

任期終了後は活動中に得た知識や経験を生かして、益子町の1人の生産者として町に貢献していく様に頑張りたいと考えています。よろしくお願いします。

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をねがいします

3つの密を避けましょう！

①換気の悪い密閉空間 ②多数が集まる密集場所 ③間近で会話や発声をする密接場面

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日々の生活中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

3つの条件がそろう場所がクラスター(集団)発生のリスクが高い！

#3つの条件のはか、共同で使う物品には消毒などを行ってください。

出典：首相官邸 HP より

議会報告会及び6月定例会 議会傍聴中止のお知らせ

新型コロナウイルスの集団発生を防止するため、5月に予定していました議会報告会は中止とさせていただきます。

また、6月定例会の議会傍聴についても中止させていただきますが、議場の様子は1階ホールのモニターで放映いたします。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

広報広聴
常任委員会



益子町議会 HP

議会だより148号の2ページ 令和元年度補正予算の主な内容の中に記載の地域振興拠点施設整備事業加工施設建設工事△2,270万円と地域振興拠点施設整備事業厨房施設建設業務2,270万円については予算の組替によるものです。